

平成21年4月13日

各 位

上場会社名 日商エレクトロニクス株式会社
 代表者 代表取締役社長 辻 孝夫
 (コード番号 9865)
 問合せ先責任者 執行役員 経理部長 堀江 敏伸
 (TEL 03-3544-3780)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年1月29日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|--------|-------|-------|--------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 50,000 | 1,700 | 2,100 | 400 | 15.17 |
| 今回発表予想(B) | 48,100 | 1,880 | 2,320 | 90 | 3.41 |
| 増減額(B-A) | △1,900 | 180 | 220 | △310 | |
| 増減率(%) | △3.8 | 10.6 | 10.5 | △77.5 | |
| (ご参考)前期実績 (平成20年3月期) | 54,406 | 2,324 | 2,468 | △1,753 | △63.53 |

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|--------|-------|-------|--------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 45,000 | 2,100 | 2,300 | 500 | 18.96 |
| 今回発表予想(B) | 43,300 | 2,290 | 2,520 | △700 | △26.55 |
| 増減額(B-A) | △1,700 | 190 | 220 | △1,200 | |
| 増減率(%) | △3.8 | 9.0 | 9.6 | — | |
| (ご参考)前期実績 (平成20年3月期) | 49,028 | 2,533 | 2,648 | △1,920 | △69.59 |

修正の理由

(通期連結業績予想数値の修正)

売上高につきましては、通信キャリア向けビジネスおよび保守サービス全般が好調に推移いたしましたが、エンタープライズ向けビジネスは、世界金融危機の影響により企業のIT投資の先送りや予算の大幅な削減もしくは凍結が顕著であり、予想以上に厳しい環境にて推移いたしました。その結果、前回予想に比べ3.8%減の48,100百万円となる見込みであります。利益につきましては、売上高は減少したものの、保守サービス全般が好調に推移していることや経費削減を含む営業効率の改善に努めたことにより、前回予想に比べ営業利益は10.6%増の1,880百万円、経常利益は10.5%増の2,320百万円となる見込みであります。

当期純利益につきましては、エレクトロニクス関連部門の事業組織再編に伴うたな卸資産の廃棄ならびに評価損等554百万円を実施したことにより、前回予想に比べ77.5%減の90百万円となる見込みであります。

(通期個別業績予想数値の修正)

上述の通期連結業績予想の修正理由により、売上高は前回予想に比べ3.8%減の43,300百万円、営業利益は前回予想と比べ9.0%増の2,290百万円、経常利益は前回予想と比べ9.6%増の2,520百万円となる見込みであります。

当期純利益につきましては、関係会社株式評価損779百万円(平成21年4月3日付「平成21年3月期の投資有価証券評価損および関係会社株式評価損に関するお知らせ」にて開示済み)の発生やエレクトロニクス関連部門の事業組織再編に伴うたな卸資産の廃棄ならびに評価損等554百万円を実施したことにより、前回予想に比べ1,200百万円減少し、700百万円の損失となる見込みであります。

※前述の業績予想につきましては、本資料の発表日現在における入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上